

當りて同志會との合同問題の起る等相次いで錯綜したる内部情勢に當面したので、爾來寄々獨立して日本主義労働組合を結成せんと計劃するところありし佐保實氏等は遂に六月十八日に至り、日本主義労働組合結成準備委員會を設けて、同氏を委員長に三十名の準備委員を任命し、且つ規約宣言趣意書等の起草委員を置いて愈々組合の結成準備に着手、鐵聯よりは正式脱退して其の關係を絶つに至つたのである。爾來準備委員會を開催すること數回に及び、或は趣意書、宣傳ビラポスター等を以つて組合員の獲得に努め、尙佐保實氏は七月五日上京十五日迄滞在して日本産業労働俱樂部懇談會に出席すると共に當局の諒解を求め或は神野信一氏其他關係方面との連絡を圖りて内外の準備を進めたのである。かくて鐵聯はもとより同志會並に一般従業員側よりの組合加入者を

得て八月八日結成大會を開催するの運びとなつたのであるが其の組合員数は約千名近く獲得したりと謂るも、將來の勢力に至りては、目下準備中の鐵聯、同志會並に合同反對團體委員會の三者合同に依る單一労働組合結成後の事情を見るに非ざれば其の發展性を見極め難いところである。

二、結成大會の狀況

- 1、日 時 昭和八年八月八日 自午前九時 至午后零時半
 - 2、場 所 八幡市通町十一丁目太陽館
 - 3、参加人員 代議員 一八八名 傍聴者 約一〇〇名
 - 4、開會の辭 中 村 史 郎
- 吾々は徒らに鐵國的な思想に捉れず諸先輩が何等躊躇する